

公益社団法人日本水環境学会
地域水環境行政研究委員会

2021年度地域水環境行政研究委員会優秀発表賞

受賞者:

佐藤祐一（滋賀県琵琶湖環境科学研究センター）

小松英司（明治大学環境法センター）

発表演題:

湖沼の健全性を物質循環の円滑さから測る
～流域物質循環モデルを用いた評価の試み～

発表概要:

「貧栄養化」の問題が指摘される受水域では、流入負荷と水質、食物連鎖を通じた魚介類資源への影響をトータルで評価し、今後の対策のあり方を検討する必要がある。筆者らはこれまで、食物連鎖を通じた「物質循環の円滑さ」から受水域の健全性を評価する方法を提案してきた。生産された有機物ができるだけ無駄なく活用され、上位の消費者にも回っていくことが、結果として水質がよく、魚介類資源の増加にもつながるという考え方である。本研究では筆者らが構築してきた琵琶湖流域物質循環モデルを用いて、琵琶湖における物質循環の円滑さの変遷を評価する試みを行った。